
Amazonほしい物リスト 活用ゼミナール 説明資料

2022/08/31

作成者: 一般社団法人みずたま 小熊

私(小熊)について

名前: 小熊 憧

肩書: 一般社団法人みずたま SNSコンサルタント

本業: LINEコンサルタント <https://line-consult.senseis.jp/>

ご支援をいただくまでのステップ

1. ほしい物リストを掲載する媒体を選定する
2. 媒体を支援者の方に見てもらえるようにする
(アカウント周知)
3. ほしい物リストを作成する
4. 支援者の方をほしい物リストに誘導する
5. ほしい物リストから物品を購入してもらう

①媒体選定

ほしい物リスト掲載媒体は

- ホームページ: △ 継続的に見に来てもらいにくい
- SNS: ◎ 継続的に見に来てもらいやすい

また各SNSの性質として、

- **Twitter:** △ フォロワーに投稿が見逃されやすい + ユーザーの年齢層が低い
バズるリスクとリターンがある Twitterアカウントの運営に慣れたスタッフがいて、ネタがあれば◎
- **Instagram:** ○ ストーリー機能を上手く利用できれば、毎日見ているユーザーには見逃がされにくい アカウント周知の面からはFacebookよりも良い
- **Facebook:** ◎ 分量のある文章を読んでもらいやすい ユーザーは投稿をしっかりとチェックしている傾向 + ユーザーの年齢層が高い
一方で、アカウント周知はやや難しい印象

媒体選びの考え方

アプローチしたい年齢層と更新できる頻度を考えて、
ほしい物リストを掲示する媒体を選定

- **Twitter:** 1日1回以上の更新がベター こども食堂事業は書くことがない日も多いので基本的にあまり向かない
- **Instagram:** 1日1回程度更新できればユーザーを習慣づけるが、写真メインのSNSなのでユーザーが関心を持ってくれるコンテンツを更新し続けるのが難しい
- **Facebook:** 文章主体のSNSなので、更新頻度が低くても気づいてもらいやすい。ユーザーの年齢層も高く、オススメ

YouTubeとLINEについて

- **YouTube:** Instagramと同様に週2回程度動画を出せばユーザーを習慣化できるが、動画は作成が大変なので、更新継続が難しい.....
うまく運営できれば最強のSNS
- **LINE:** 顧客との1対1のコミュニケーションで近さを感じさせる + 更新のたびにプッシュ通知を送れることがメリット
一方で、寄付を募るにはあまり向いていないかもしれません
SNSというよりはメーリングリストのようなイメージで、
ちゃんと工夫をしないと文面まで見てもらいにくい

②アカウント周知

実施するSNSや、団体の活動内容や運営方針によってさまざまなやり方が考えられる。

反応のいいフォロワーを集めることが重要。
当然ただフォロワーを増やすだけでは支援にはつながらないため、量と質の両面で効果的なアプローチが理想。

- 団体の活動に興味を持ってくれる層
- 団体のミッションに共感してくれる層
- 団体の活動を必要としている層

同時に既存の支援者にもアプローチを行う。

③ほしい物リストの作成

みずたまでは、
「支援者の方が何を買えばいいか迷わない」
ことを重視してリストを作成しています。

あまり色々なものや高価なものは入れずに、
ほしい物リストはそのとき本当に必要なものを
ご支援いただくために利用しています。

(Amazonの操作画面を共有します)

④ほしい物リストへの誘導

Amazonほしい物リストを公開→リンクを作成し、
任意の媒体に掲載します。

その際、「何が」「どうして」必要なのかというメッセージが伝わる
ようにするとご寄付をいただきやすくなると
思います。

また、同じリストを繰り返し掲載するのではなく、
必要なものだけのリストを掲載するようにしましょう。

⑤スムーズに購入していただく工夫

ほしい物リストにも、「**どうして必要なのか**」「**どうしてこれを選んだのか**」などがわかるようにコメントを書くと良いと思います。

支援者の方に、商品を必要とする気持ちに共感していただくことで、ただご寄付をいただくだけでなく、寄付の意味や支援によってどんな良いことが起きるかということをお伝えしたいと思っています。

⑥購入していただいた後

ほしい物リストからいただいた物品が団体に届いたら、ほしい物リストのリンクを掲載したメディアで感謝をお伝えしましょう！

物品の写真とセットだと「届いた」という実感が伝わりますし、感謝の気持ちも伝えやすいと思います。

みずたまの基本運用方針

- 活動の発展に健全に寄与すること
→ 本当に必要なものだけをリストに載せる
- 継続的にご支援をいただけること
→ 今必要なものだけをリストに載せる
- いただいたご支援が無駄にならないようにすること
→ 同上
- 運用の手間がかかりすぎないこと
→ SNSアカウントは増やさない。1人のキャパで十分管理・運営できるように、ルーティーン化する。